

「微破壊試験を活用したコンクリート構造物の健全性診断手法調査研究委員会」

第5回 全体会議 議事録(案)

議事録担当:松林

■日 時: 2011年9月14日(水) 10:00~12:00

■場 所: JCI 12F 会議室

■出席者: 二羽委員長, 安田副委員長, 堤幹事長

(幹事)岩波

(委員)岡本, 横沢, 鎌田, 下村, 田村, 吉田, 谷村, 小川, 浅野, 濱崎, 松林

(事務局)川上

以上16名(敬称略)

■資料:

5-0 第5回全体会議 議事次第

5-1 第4回全体会議 議事録(案)

5-2 WG1 報告

5-3 WG2 第5回議事録(案)

5-4-1 WG2 の目的と報告書目次案

5-4-2 各基準の対応状況(A4横書きの表)

5-5-1 非/微破壊試験法の各手法の技術完成度の現状に関するレビュー(案)

5-5-2 非/微破壊試験技術の実務への活用状況に関する分析(案)

5-6 WG 資料(補修・補強の現状調査と課題整理部会(WG3))

5-7 WG4 第1回議事録(案)

5-8 コンクリートの微破壊試験・非破壊試験の活用方法に関するアンケート

■議事:

1. 委員長挨拶(二羽委員長)

2. 第4回全体委員会議事録確認(堤幹事長)

資料5-1に基づき第4回全体委員会の議事録の確認を行った。

➤ 文献引用の依頼提出が3月末とあるが, 使用承諾を4/25までに得られるような日程とする必要がある。

(川上氏)

3. 各WGからの報告

3-1. WG1の報告

資料5-2に基づきWG1担当分の報告書目次案および健全性評価に関する執筆内容について報告が行われた。(田村主査)

[主な意見]

・WG2とつながるように論旨を調整して頂けるとありがたい。(鎌田主査)

・用語の定義があった方がよい。(鎌田主査, 谷村委員)

➤ WG4 で定義を行う。

3-2. WG2 の報告

・資料 5-3, 5-4-1 および 5-4-2 に基づき, WG 担当分の目次案および全般的な作業状況の報告が行われた。

(鎌田主査)

・資料 5-5-1 に基づき, 規格が制定されているものや実務での適用がなされている微/非破壊試験方法を使用別に整理した結果が示された。(吉田委員)

・資料 5-5-2 に基づき, JCI コンクリート診断士調査報告書 A(2009)に掲載されている報告内容について, 評価対象に対する各試験法の適用件数について整理した結果が示された。(吉田委員)

[主な意見]

・費用対効果について報告書内で触れるか。

➤ コストに関しては, コストに言及した過去の委員会報告を紹介する程度に留める予定。

・コンクリート診断士調査報告書について, 目視と他の検査方法を組み合わせて使っている例はないか。

➤ 少ない。ほとんどが目視のみ。

・報告書として充実しているものは報告書 B と思われるが, こちらを調査する予定はないか。

➤ B は内容的には面白いが, より一般的な情報を収集しようとする A の方がよいと思われる。

・他の年度は整理しないか。

➤ 他の年度についても整理する。

3-3. WG3 の報告

・資料 5-6 に基づき, WG 担当分の目次案および収集した事例の全体的な傾向について報告が行われた。

(岩波主査)

[主な意見]

・全体的な傾向の中に, 建築などの事例も入るか。

➤ 現在は主に道路分野について示しているが, 鉄道, 港湾, 電力など他の土木分野について追加することを想定している。建築は分けて考える予定。

・例えば, コア抜きしているならば鉄筋位置も調査しているはずであるが, 文献として記述が無い可能性がある。文献から読みとれる範囲で調査したなど前提条件を記す必要があるのではないか。

➤ 指摘を踏まえ, 記述する。

3-4. WG4 の報告

・資料 5-7 に基づき, 第1回 WG4 の報告がなされた。(横沢委員)

[主な意見]

・土木分野では, 劣化が顕著でないところに予算を配分できない現状がある。コストの話をしなければ土木分野では取り入れられないのではないか。

→ WG3 の LCC 試算例のような形で示すこととなる。

・置かれた状況を踏まえて微破壊試験の有効性を示す必要がある。

新たに点検に取り入れる場合: LCC 低減

既に通常のコア抜き等を取り入れている場合: 微破壊にしても同等の精度が得られる

・利用状況だけでなく, 試験結果がどう使われているかが見えることが望ましい。

4. アンケートについて

- 資料 5-8 に基づき, JCI 年次大会で行ったアンケート(紙ベース)の結果が示された。(鎌田主査)
- 回答者は学校関係者や学生が多かった。
- 定量的情報が得られる利点は理解されているようであるが, 工事費の縮減や財務担当者の説得材料としては期待されていないようである。
- 土木学会全国大会ではアンケートを実施していない。

[主な意見]

- web によるアンケートも進める必要がある。
 - 紙ベースのアンケートと同様の整理ができるように web アンケートの質問内容を見直し, 委員会ホームページからリンクできるようにする。(松林)
 - アンケートへの回答依頼方法について検討する。(堤幹事長, 川上氏)

5. 今後の予定

次回全体委員会

日時: 12月16日(金) 15:00~17:00

場所: JCI 会議室

以上